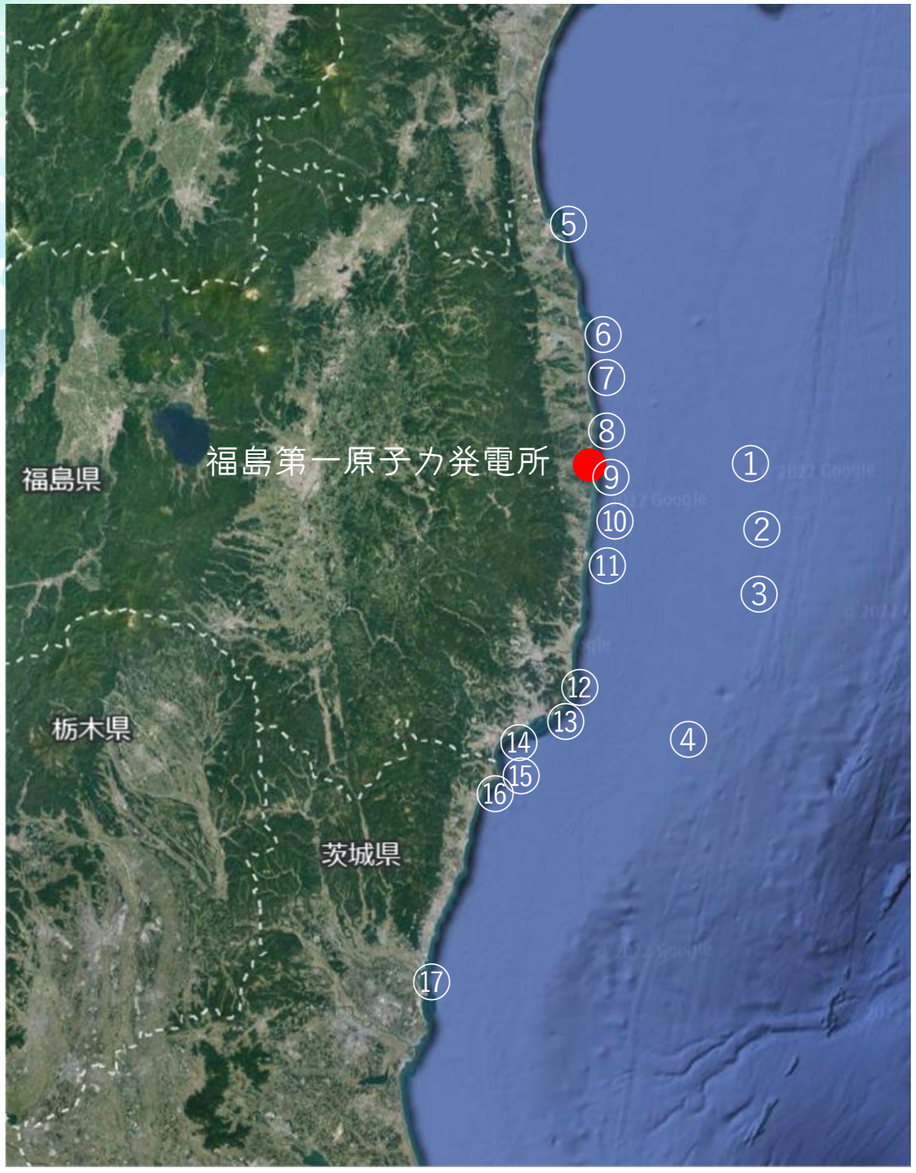
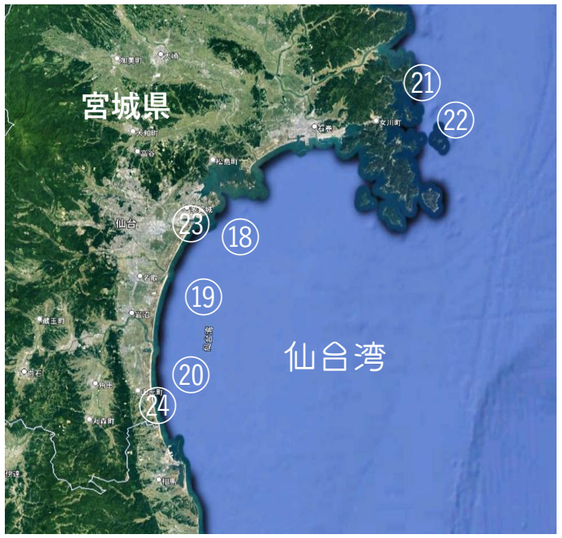
海水採取地点

福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域て試料の採取をしています。
※1.5km以内は東京電力の敷地となっています

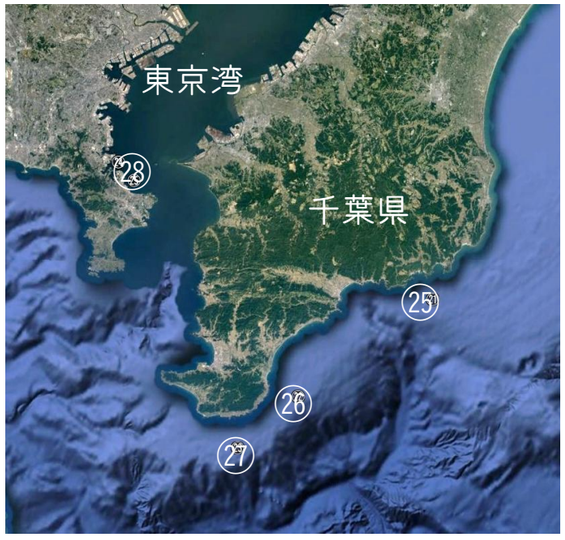
海水採取地点



① 福島第一原発沖
② 福島第二原発沖
③ 双葉郡広野沖
④ いわき市小名浜沖
⑤ 相馬港
⑥ 萱浜海岸/村上海岸
⑦ 請戸港
⑧ 双葉海水浴場
⑨ 熊川河口付近
⑩ 富岡港
⑪ 岩沢海水浴場
⑫ 四倉港
⑬ 江名港
⑭ 小名浜港/サンマリーナ
⑮ 小浜港
⑯ 平潟港
⑰ 豊岡海岸



⑱ 仙台新港沖
⑲ 閑上沖
⑳ 阿武隈川河口沖
㉑ 浜市海岸
㉒ 浜市沖
㉓ 仙台新港
㉔ 荒浜海岸



㉕ 勝浦沖
㉖ 千倉沖
㉗ 南房総沖
㉘ 東京湾

海水の測定方法について

海水の放射性セシウムとストロンチウム90の測定には、採取した海水をろ紙てろ過した海水を試料として使います。 しかし、海水をろ過することにより、細かい砂や肉眼てば確認てきない小さな生きものは、ろ紙に吸着され、測定する海水部分に含まれないようになってしまいます。そのため、それらの懸濁物に含まれる放射性物質の測定値を知ることはできません。

そこで、たらちね では、日常の中の海水とはどういう状態のものか? を考えました。
その結果、細かい砂や生き物も含めた海の水 全体か海水なのてばないかという結論に至りました。 したがって、たらちねでば、たらちね以外の分析機関て測定するのと同しく、ろ過した海水の測定を行うと同時に、海水中の懸濁物の測定も行なっています。

海水の測定結果と懸濁物の測定結果は、それそれに項目を分けて設けています。

第67回　2026年7月6日　【宮城県　沿岸部】

【海水　測定結果】	仙台市/仙台新港		東松島市/浜市海岸		亘理市/荒浜海岸	
	海水　表層		海水　表層		海水　表層	
北緯	38° 14' 845"		38° 09' 930"		38° 02' 564"	
東経	141° 01'810"		140° 58' 751"		140° 56' 588"	
水温	—		—		—	
水深	—		—		—	
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137　(Bq/L)	ND	0.002	ND	0.002	0.004±0.001	0.002
セシウム134　(Bq/L)	ND	0.002	ND	0.002	ND	0.002
セシウム137・懸濁物(Bq/L)	ND	0.002	ND	0.001	0.008±0.001	0.002
セシウム134・懸濁物(Bq/L)	ND	0.002	ND	0.001	ND	0.002
自由水型トリチウム (Bq/L)	0.11±0.04	0.04	0.11±0.04	0.04	0.14±0.04	0.04
ストロンチウム90 (Bq/L)	0.0008±0.0003	0.0004	ND	0.0004	0.0007±0.0003	0.0004

※ 海水→セシウム137、セシウム134は、ゲルマニウム半導体検出器で測定→測定機器：ORTEC社製 GEM型 相対効率35％・CANBERRA社製 GC4020 相対効率43.5%です。
※ ＮＤ(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。
※ 海水→自由水型トリチウムとは、環境中や生物体内に水の状態で存在するトリチウムのことです。